

厳島～変わる宮島口・宮島の今～

2022年9月14日（火） JGA 第四支部実地研修 終了報告

朝のJR宮島口駅に「厳島～変わる宮島口・宮島の今～」に参加の32名（会員25名、非会員5名、委員2名）が集まりました。多くの方は前日13日の「広島を知る・ヒロシマを伝える」研修および参加者交流会からの参加となり、すっかり打ち解けた雰囲気で行修がスタートしました。広島・宮島がホームの全国通訳案内士のお二人、海生郁子様（正会員・第四支部）、高味伸子様を講師に迎え、15名ずつ2グループで実地研修を行いました。

まずは、すっかり変わった宮島口棧橋に移動し、施設や宮島へのアクセスの選択肢が増えたことを確認しました。青空のもとフェリーで宮島へ。まだ素屋根に覆われている大鳥居ですが、ついに年内にはまた姿が見られそうです。



宮島では、普段あまり訪れない町家通りや奥に入った路地、お寺での和体験施設、数々の写真スポット、自然散策道などを巡りながら、島と人々の歴史、数々の物語に耳を傾けました。棧橋から厳島神社に直行するハイライトコースの他にもさまざまな魅力がある宮島の奥行きを体感する研修と

なりました。坂や石段を上り下りし、小さいと思っていた町をさまざまな角度から見学。何度も宮島をご案内してきた参加者でさえ、地図を見ながら場所を確認し、研修後には復習に歩き直しに行くほど、宮島が見違えて見える体験となりました。

コロナ禍にオープンした etto 宮島交流館は、場所も展望も良く休憩にも使えて役立ちそうです。食事処やお店の情報も盛りだくさん。朝は静まりかえり、鹿も休憩中だった島も、午後には修学旅行生や観光客の賑わいが見られました。



9月13日、14日と2日間連続の第四支部研修でしたが、参加者の熱心さ、講師の丁寧かつエネルギッシュな案内が素晴らしい研修となりました。暑い中でのウォーキングツアーでだんだん足が重くなる中、「まずは体力づくり！」とインバウンド本格再開に向けて意欲高い仲間と過ごせた2日間となりました。

（第四支部 広島・宮島研修担当）